

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和元年10月21日

公表: 令和2年3月23日

事業所名 児童発達支援事業 松ぼっくり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・お子さんの様子に合わせて、活動を小グループに分けて行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			・余裕を持った職員配置が行えるよう打ち合わせを綿密に行っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・個別にブースを設定している。 ・自分の色を決めて、ロッカーや、椅子を色分けしている。	・現在利用しているお子さんに必要なバリアフリー化はできているが、(場の区分)車いす使用に対する施設設備の対応は現在なされていないので、今後必要に応じて検討していきます。 ・今後もここに応じたブース作り、活動スペース、余暇スペースなどを用意していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・清掃や換気、エアコンの使用で快適に過ごせるように心がけている。太陽(自由あそびのへや)は机を壁に向けて座ってひとりひとり自分でじっくりあそべるよう配慮している。 ・危険なものはたなにしまうなど見えないう工夫している。	・気温湿度に気を配り、エアコン扇風機を使用しています。ケガ事故が起こらないよう、予測して机、物など配置に気をつけています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・事前の打ち合わせ、グループ後の振り返りを職員全員で行い、全員で参画しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート、面談、懇談会を行っています。	・事業所の評価を実施し、業務改善に取り組んでいます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・法人内で行っています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・まつぼっくり研修会や笹先生の研修会、又、外部の研修参加が確保されています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・アンケートや面談を行い、保護者のニーズを確認、分析、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・発達検査の結果を使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・毎回、事前事後の打ち合わせ時に職員で確認し支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に1回職員会議で意見をだし合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・会議を行い過去のプログラムも確認しながら立てています。	・その時の子どもの状況に応じて活動のプログラムを、話し合い、工夫していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎回必ず実施し、前回からの確認事項や留意点などを共通認識した上で取り組んでいます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎回必ず実施し、小さな気付きでも話しあい、次回に生かせるようにしています。支援計画に常に立ち戻って検討しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・評価記録がファイルしてあります。記録に全職員が目を通しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年に1回関係機関と連携して取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて連携をとっています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		・現在対象児がいらないため行っていませんが必要に応じて対応していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		・現在対象児がいらないため行っていませんが必要に応じて対応していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・対象児がいませんが、情報共有等は必要に応じて実施しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・「かけはし」のファイル作成をサポートしています。	・保護者を通して行うことができるように支援し、必要に応じて実施しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・月1回程度研修を受講しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・戸外活動として公園などで交流などしています。	・幼稚園・保育園へ行っている児童が対象なので今後必要性に応じて対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・タイミングがあれば活動中に保護者に話しかけて、家や園での様子を聞いて、好きなこと得意なこと、苦手なこと困っていることなど話し合ったりしています。 ・グループ実施中に保護者と話したりお便り帳の記入を通じて行っています	・おたより帳を使用してのやり取り、活動中に伝え合いの時間を持っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアレントトレーニングと懇談会を実施しています。	
保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・入所時に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・年に2回作成しています。その際は保護者と面談を実施しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・グループ中、または、年2回の面談を実施しているほか、おたより帳、電話、面談、懇談会、等を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・定期的に懇談会を実施しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
説明責任等	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・必要に応じて随時行っています。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月のプログラム等の情報を月に1回発信しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・守秘義務を厳守しています。必要のなくなった書類は溶解処理を行っています。	
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・松風まつりに参加を呼びかけ地域との交流を行っています。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・月1回の避難訓練しています。 ・保護者へのしおりに記載するほか、入口のファイルにとじて閲覧できるようにしています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月1回の避難訓練しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・対象児がいた場合は、保護者との連携の上対応していきたい。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・現在対象児がいないため行っていませんが必要に応じて対応していきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・日々の日誌に記録し職員間で共有できるようにしています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・人権研修を実施しています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		・現在のところ 対象児がいないため行っていませんが必要に応じて対応していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月23日

アンケート期間:令和元年7月1日～令和元年7月31日

事業所名 児童発達支援事業 松ぼっくり

保護者等数(児童数) 16 回収数 16 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15		1		・子供たちそれぞれのパーソナルスペースを確保できるように工夫されていると思う。 ・もう少し広いといいと思います。 (子供同士でぶつかりそうな時もあるので)	・活動によって机を片付けるなどし、できるだけ広く使えるよう配慮する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16				・個人の気持ちやタイミングに合わせて対応しているように思う。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	3			・目で見て分かるよう工夫されていたり、子供の好きなものを使って伝えたりする工夫がよく見られます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1	1	1	・すごく細かく、ていねいに計画書などを作っていただきながら取り組んでいるように思う。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	1			・一人一人に合わせてよく組まれているなあと思います。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	16				・毎回工夫された活動をされていると思います。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	6	3	・普段幼稚園に通っているので、必要ないと感じます。	・幼稚園・保育園とは必要に応じて交流を図っています。基本的に幼稚園・保育園と併用して通っているお子さんが多いため交流は実施していません。公園などの活動を通じて障がいのないお子さんと交流する機会があります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	1		3		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11			5	・ペアレントトレーニングのおかげで子どもがスムーズに行動できるようになった。	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16				・よく話をきいてくれて、相談にもものってもらえている。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・以前よりも、子供の日々の変化、成長を見られるようになってきたと思います。 ・アドバイスなどをしてもらう事もあり、助けられています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	4		6	・懇談会なども時々開催しているので良いと思います。	・毎年4月に保護者の方同士の交流を目的に懇談会を実施しています。また年2回父親の会の開催も実施しています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1		2	・スケジュールの本人確認方法について、こうしてほしい要望をすぐに取り入れてくれた。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1		1		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	5	1	9		・毎月訓練を実施しています。またマニュアルを作成し掲示ファイルを用意しています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		5	2	9	・短時間、大人が沢山いる環境なので特に必要ないのではと感じます。	・緊急時を想定し職員で訓練をしています。グループ活動においても必要に応じて今後は計画をしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1		2	・毎週楽しくって仕方ないです。次の日にようちえんに行くと、園の先生に「△△やったんだよ」と報告しています。 ・色々な事をしてくれるので「今日は何やるのかな？」という感じで楽しみにしていると思う。	
	23	事業所の支援に満足しているか	14	2			・毎回話を聞いてもらい、親の対応をよくしてもらっています。 ・ここ最近は、自立課題が多く、その内容も同じものが多く時間の都合などもあると思いますが個別課題をもう少し多く取り入れてほしい。	・お子さんへの一人ひとりに合った発達支援を心がけています。また保護者の方への相談についてできるだけ丁寧にお答えできるよう努めています。今後も満足していただける支援をしていきたいと思っています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数に合わせて一斉に行ったり、グループを分けて行い、スペースに合うよう調整しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・利用人数に合わせて適切になるよう工夫しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・現在、車いすの利用はありませんが入口に段差があり配慮については検討していきたいと思っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・活動後にそれぞれの利用者の様子を記録に書いて情報共有をすると共に、その日の気になることは、その場で話し合いや振り返りをしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年度の始まりにはアンケートや個人面談や利用時のフィードバックで意向を把握し、必要があれば改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・法人内では実施しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所内での勉強会、法人での研修を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別面談で確認しています。(年2回)
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・必要に応じて発達検査を実施しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・会議を行って話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間を通して楽しく参加できるよう、さまざまな活動プログラムを行っています。 ・過去の活動内容を見ながらプログラムを立て固定化しないよう工夫しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・夏休み企画等を行い支援しています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別対応での参加と集団活動での参加のそれぞれを担当職員が評価し、状況に合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に職員全員で参加し、活動の内容や本日のねらい、子どもへの支援について打ち合わせを行っています。支援グッズを用いて具体的に確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日、それぞれの子ども様子を記録している。その際に支援中で気付いたことや共有しておいた方がよいことは話しています。 ・時間を工夫して様子を話し、共通理解をしています。その他記録を読むことで共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録に職員全員で行い自分でわからないことは、他の職員に聞くなどし、正しい記録を書くようにしています。改善点もその場で話し合っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校への送迎は行っていないので、必要に応じて行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・対象児がいないため行ってません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者との連携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・対象児童がいらないため行っていません。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・月1回の勉強会、年1回の法人全体研修を実施しています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現在は行っていません。 ・本事業所のねらいとして交流はあげていませんが今後必要に応じて検討します。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・児童発達支援管理責任者が参加しています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時に直接話をしています。時によって電話で話したり面談を実施しています。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ペアレントトレーニングを実施しています。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・電話、個別面談の実施しています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・各グループで保護者会や参観日を設けることで保護者同士の連携を支援しています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年間予定表を配布しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・松風園まつりに地域の方々も参加していただいています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・月に1回防災訓練を実施しています。 ・保護者へのしおりにも入れています。1F入口のファイルに閲覧できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月1回避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・現在は想定されている状況はありませんが、必要に応じて対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在対象児がいないため行っていませんが、必要に応じて保護者からの情報提供等も含め対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットについては日々確認をし全職員で共有しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	記入無し	主なご意見(抜粋)
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	57	12	1	2	・もう少しダイナミックな活動(運動)ができるスペースがあると、活動の幅が広がってよいのではと思います。 ・活動の内容によってはせまく感じるがほとんどはよい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	65	6	0	1	・先生の専門的な知識は素晴らしいです。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	40	25	3	4	・必要性は感じていないが、玄関はスロープになっていない。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	65	6	0	1	
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	61	9	2	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	23	38	3	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	68	4	0	0	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	59	11	2	0	・月に1、2回の活動なのでもう少し回数が増えてくれると心強いです。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	62	7	3	0	・困ったときに、すぐに相談にのってくれて親が安心できます
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	43	20	8	1	・なかなか話す機会も小になるとないので、増えてくれると嬉しい。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	47	20	2	3	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	62	6	3	1	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	41	26	4	1	
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	67	3	1	1	
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	45	22	3	2	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	31	14	3	

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	64	6	1	1	・まつぼっくりの日にちを分かっている為、前日に伝えてくるようになった。 ・友達と遊びたい気持ちもあるが、来ると楽しく参加している。
	18	事業所の支援に満足しているか	65	5	1	1	・回数を増やす、1回の時間を長くする、スタッフと話す時間を増やすなどができれば、ありがたい。 ・学業支援もしてほしい。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。